



用語集

用語集

この用語集は、ビジョンに使用した語句の説明のために、企業団が作成したものです。

あ行

- ・アセットマネジメント

持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動のことをいいます。

- ・一日最大給水量

年間の一日当たりの給水量のうち、最も給水量が多かった日の給水量です。

- ・一日平均給水量

年間の一日当たりの給水量の平均値です。

- ・一部事務組合

複数の地方公共団体（都道府県・市町村・特別区）が、教育・衛生・消防など行政サービスの一部を連携・共同して行うため設置する、特別地方公共団体のことです。一部事務組合のうち、水道・交通・病院事業など地方公営企業の経営を行う組織を「企業団」といいます。

か行

- ・官民連携

水道等公共サービスの提供に何らかの形で民間が参画し、官と民がそれぞれお互いの強みを生かし、最適な公共サービスの提供を実現していくための一つの方法です。

- ・管路経年化率

管路の延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示すものであり、管路の老朽度、更新の取組状況を表す指標の一つです。

- ・ **企業債**

地方公営企業が水道施設の整備や改良のための財源とするために、公的資金（国、地方公共団体金融機構）及び民間等資金（銀行、市場公募など）から借り入れる地方債のことです。

- ・ **企業債残高対給水収益比率**

給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標の一つです。

- ・ **基本料金**

二部料金制において、水道水の使用量と関係なく定額で徴収する料金部分のことで、使用量に応じて徴収する使用料金との合計額が水道料金となります。

- ・ **給水人口**

給水区域内に居住し、水道の給水を受けている人口のことです。

- ・ **共同水質検査**

千葉県を除く7構成団体の要望を受け、「共同水質検査に関する協定書（平成8年2月締結）」に基づき、水質検査を共同により実施しているものです。

- ・ **繰上償還**

借り入れた資金の全部または一部を所定の期限前に繰り上げて償還することです。

- ・ **経営戦略**

地方公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続できるよう、総務省が策定を求めている中長期的な経営の基本計画で、投資と財源の試算により収支が均衡した「投資・財政計画」を定めるとともに、効率化・経営健全化の取組方針などを記載するものです。

- ・ **経常収支比率**

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標の一つです。

- ・ **広域連携**

施設の共有化や事務の共同化などにより、複数の事業者が相互に協力し、能力を補い合い、更には高めていく手法です。

- ・ **高度浄水処理**

通常の浄水処理では十分に除去できない物質を除去するために追加する処理のことです。具体的には、オゾンによる分解や粒状活性炭によるかび臭物質等の吸着、微生物を利用した生物処理などがあります。

- ・ **コンセッション方式**

利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式です。

さ行

- ・ **最大稼働率**

施設能力に対する一日最大送水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標の一つです。

- ・ **自家用発電設備**

電力会社から供給を受ける電力とは別に、災害発生時など電力会社からの電源供給が途絶えた時や受電設備の故障時などにおいて、通信設備及び監視制御設備等などの各施設の能力を確保するため、必要な電力を自力で賄うための発電設備のことです。

- ・ **資産維持費**

物価上昇による減価償却費の不足や施工環境の悪化による工事費の増大等に対応して、実体資本を維持し、適切な水道サービスを継続していくために総括原価への算入が認められている費用のことです。

- ・ **施設利用率**

施設能力に対する一日平均送水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標の一つです。

- ・ **浄水発生土**

浄水処理において発生する、原水中の濁質が沈澱した泥状のもの（スラッジ）を濃縮・脱水したものです。

- ・ **水道 GLP（水道水質検査優良試験所規範）**

公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業者の水質検査機関及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項のことです。

- ・ **水道用水供給事業**

水道事業が一般の需要者に水を供給する事業であるのに対して、水道により、水道事業者はその用水を供給する事業をいいます。

- ・ **水道事業ガイドライン**

水道事業の事業活動全般を分析・評価するための各種規格を総合的に考慮し、水道事業の定量化によるサービス水準の向上のために制定された公益社団法人日本水道協会の規格で、様々な業務指標（PI：Performance Indicator）が定められています。

- ・ **水道事業ビジョン**

厚生労働省が平成25年3月に公表した「新水道ビジョン」に基づき、水道事業者が安全で強靱な水道の持続に資することを目的に作成するビジョンのことです。

- ・ **水利権**

河川の水などを水道や発電など特定の目的のために使用できる権利のことです。

※安定水利権・・・取水が安定的に継続される水利権をいいます。

暫定水利権・・・一般的に河川の流量が基準を超える場合に限り、取水が可能（不安定取水）である旨の条件（豊水条件）が付された水利権をいいます。

た行

- ・ **千葉県水道広域化推進プラン**

千葉県が令和元年に策定した「千葉県版水道ビジョン」の統合・広域連携の方向性に基づき、これまでの各地域における検討状況を踏まえ、当面の具体的取組内容等を取りまとめたものです。

- ・ **長寿命化**

既存の施設・設備をより長く安全に使用するために行う取組みで、老朽化の進行を防ぐことや効率的な機能維持などが挙げられます。

な行

- ・ **内部留保資金**

減価償却費などの現金支出を伴わない支出や収益的収支における純利益によって、企業内に留保される自己資金のことで、将来の施設・管路等の更新財源や企業債の償還などに使用します。

は行

- ・ **表流水**

一般的に河川水、湖沼水のことをいいます。

ま行

- ・ **マイクロ水力発電設備**

水が流れる勢い（落差と水量）を利用して、水車を介した発電機により電気エネルギーに変換することを「水力発電」といい、中でも出力が100kW以下の小規模なものをいいます。

- ・水安全計画

食品衛生管理手法である HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point) の考え方を取り入れ、水源から蛇口までのあらゆる過程において、水道水の水質に悪影響を及ぼす可能性のある全ての要因（危害）を分析し、管理対応する方法を予め計画として定めるリスクマネジメント手法です。

- ・水運用

日々の水需要の変化、河川から取る水の質、電力消費量、取水施設や浄水施設の状況などを総合的に勘案し、安全性・効率性の観点から、取水・導水・浄水・送水する水量を計画し、水供給を行うことをいいます。

や行

- ・有形固定資産減価償却率

建物や機械などの資産（有形固定資産）の取得価額に対して、ある時点での減価償却費の割合を示す比率で、これにより減価償却の進み具合や施設の老朽化の度合を知ることができます。

ら行

- ・ライフサイクルコスト

建設費用のみならず、修繕などの維持管理費及び最終の処分費用までを含んだ総費用のことです。

アルファベット

- ・BCP(Business Continuity Plan)／業務継続計画

自然災害などへの対応を定めた計画で、事業活動を早く再開し、継続するために策定されます。優先して再開する業務や、原料の調達・輸送の代替手段などを明記するものです。

- **B P R (Business Process Reengineering) / 業務改革**

業務のプロセス全体について、詳細に分析・評価・改善を行うことを通じて、抜本的な業務効率化と利便性向上の双方を実現させることです。

- **D X (Digital Transformation)**

I C Tの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることです。

- **G X (Green Transformation)**

カーボンニュートラルを実現しながら、その取組自体に価値を生み出し、産業構造や経済社会を変革、発展させることです。

- **I C T (Information and Communication Technology) / 情報通信技術**

情報や通信に関連する科学技術の総称であり、従来の I T (information Technology) に比べて、ネットワークを利用した多様なコミュニケーションの重要性を強調した概念のことをいいます。

- **O A 化 (Office Automation)**

定型業務をデジタル技術を用いて自動化する取組のことです。

- **O J T (On the Job Training) / 職場内研修**

職場で実務をしながら、職務能力の向上を図ることです。

- **P D C A サイクル**

計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)の4段階のプロセスを繰り返しながら、継続的に業務を改善する手法です。

- **P P A (Power Purchase Agreement) / 電力販売契約**

施設所有者が提供する敷地や屋根などのスペースに太陽光発電設備の所有、管理を行う会社 (PPA 事業者) が設置した太陽光発電システムで発電された電力をその施設の電力使用者へ有償提供する仕組みをいいます。

- **S D G s (Sustainable Development Goals) / 持続可能な開発目標**

2015 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載されている 2030 年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標で、17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。

北千葉広域水道ビジョン

発行日:令和8年3月

発行先:北千葉広域水道企業団

所在地:松戸市七右衛門新田 540-5

連絡先:047-345-3211